



医師



2010年春からリウマチ・膠原病科 外来が始まりました。

副院長 藤田 芳郎

当科では、全身性エリテマトーデスなど難病指定疾患を多く含む膠原病や関節リウマチを診療しております。

膠原病について

膠原病には、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎・多発筋炎、強皮症、ウェグナー肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎などをはじめとするさまざまな疾患があります。はじめは「関節や体のあちこちが痛い症状が続く」とか「微熱が続く」などの漠然とした症状から始まったり、肺炎や腎臓病や皮膚病などから始まったり、などいろいろな症状から病気が始まりますし、その後の診療もきめ細かく全身を診ていかなければなりません。

膠原病は全身疾患であるため、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、眼科、皮膚科、整形外科、口腔外科、耳鼻咽喉科などをはじめとする多くの科と連携しながら診療を行っております。

関節リウマチについて

「朝起きたら30分以上手がこわばる」などが関節リウマチの典型的な症状ですが、必ずしも手から始まるとは限らず、膝や肩から始まり、手首の関節が痛んでくるといった症状から始まることもあります。また関節リウマチに似た他の疾患であることもあります。是非これらの症状が出現し続くようなら当科を受診ください。関節リウマチの治療は最近大きく改善され、欧米で10年以上前から使われている特効薬が日本でも数年前から使用できるようになりました。関節リウマチの診断基準も2010年に変わり、早期診断早期治療により変形をきたすことが少ない時代になりました。しかし、特効薬である製剤は副作用もあり、結核などの感染症を予防するなどのきめ細かな検査と経過観察が必要となります。

膠原病ではないか、関節リウマチではないかと感じられたらぜひ当科にご相談ください。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい」病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。